



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第7号(2008年4月21日)



ドバイの巨大運河

ドバイに建設予定のアラビアン・カナルは、全長75kmの運河で、ウォーターフロントから、新国際空港に沿って内陸を進み海に出ます。総事業費約110億ドルのプロジェクトになります。運河の幅は150m、深さは6mで全長40mの船が通ることができます。運河の水面を海水面と同じにしたうえで、深さを6mにするには地面から70mの深さまで掘らないといけな場所もあるため、景観を損ねないための地質調査や発掘調査を既に始めています。運河沿いには、不動産・住宅、レジャー施設などの開発を数10億ドルかけて行います。工事は今年開始され、掘るだけで3年から5年かかり、完成までは10年から15年かかるそうです。

これが完成すれば内陸部の開発も一気に進むのではないかとされており、海岸線を埋め立てると同時に、内陸部でも「国土改造計画」が進行しています。 (無きにしもアラブ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



美しいラクダ？

本レポートは中東の情報をお届けするということで、中東を代表する動物であるラクダをもじって「らくだより」という表題にさせていただいておりますが、今回はそのラクダに関してのお話。

3月、アブダビでは、ラクダフェスティバルが開催されるのですが、その中の賞金総額950万ドルの「ラクダコンテスト」に参加するために湾岸諸国から1万頭ものラクダがアブダビに集まるそうです。我々には、ラクダの良し悪しなんてさっぱり判りませんが、やはりもともとは砂漠の民だけあってラクダにはこだわりがあるのでしょうか。それにしても10億円近くの賞金とはすごいですね。

もう一つ、湾岸地域では競馬と並んで、ラクダレースが盛んに開催されていますが、現在ラクダに乗るジョッキーはロボットが行なっています。少し前まで体重が軽く有利なことから子供がジョッキーをしていましたが、小さな子供に危険な仕事をさせていると、非難の対象になっていたこともあり、ロボットに代わったそうです。ロボットの操作は近くを走る車から行ないますので、ラクダと同じ数の車が一緒に走っているという不思議な光景を見ることができます。

(無きにしもアラブ)



ラクダに乗るロボットジョッキー

出所: K-TEAM



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



ただいま増加中



多くの外国人が湾岸諸国に出稼ぎに出ていることはよく知られていますが、昨年、クウェートの全人口の約69%が外国人になったことが政府より発表されました。これは同国の外国人が、2007年の1年間で約6.8%増加したことになります。ちなみに同年の自国民の増加率が約3.1%であったので、このままの増加ペースだと、全人口のほとんどが外国人になってしまうということになります。さらに労働人口で見ると、同国では既に約85%が外国人だとのこと。

これは、クウェートに限ったことではなく、カタールやUAEでは全人口の約80%、バーレーンでは全人口の約40%が既に外国人で占められており、湾岸諸国全てで起こっていることなのです。

ただ裏を返せば、それだけ湾岸諸国には外国人を引き寄せるビジネスチャンスがあるということで、今の経済成長が続く限りは、外国人の比率は増加し続けるのでしょう。 (グッドバイ)

格闘技も世界一？



格闘技ファンの方は皆様よくご存知のことと思いますが、UAEのアブダビでは、格闘技寝技世界一決定戦といわれる通称“アブダビ・コンバット”という大会が開かれています。同大会は、1998年にUAEの王子が個人的な趣味でスタートした、その名の通り、世界で一番寝技の強い格闘家を定める大会で、世界中からレスリング、柔道、また柔術などの寝技系格闘技の猛者が集まります。格闘技というと通常、パンチやキックといった打撃攻撃がありますが、同大会では打撃は一切禁止されており、寝技中心の競技体系で格闘技の中でもかなりマニアックな部類に入ります。しかしそこで優勝した者は、“寝技世界一”の称号が与えられ、世界中の格闘家から尊敬を集めるのです。

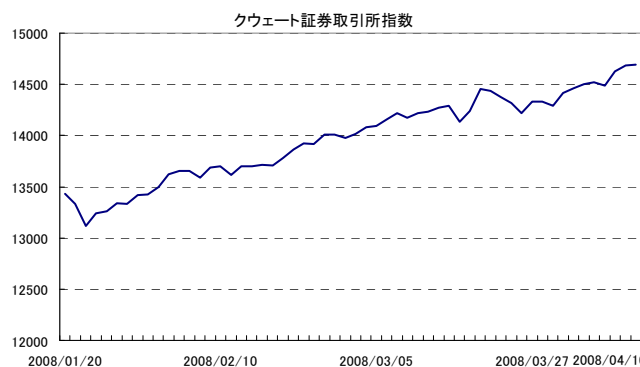
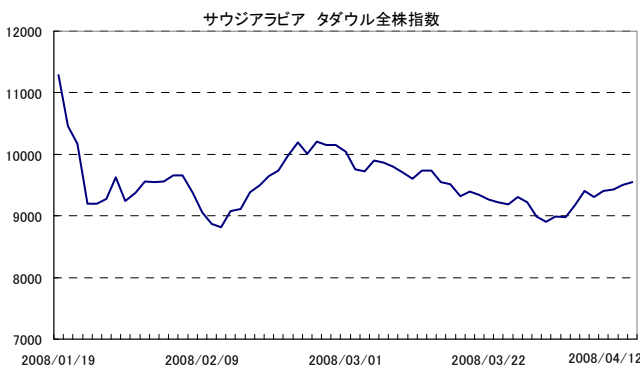
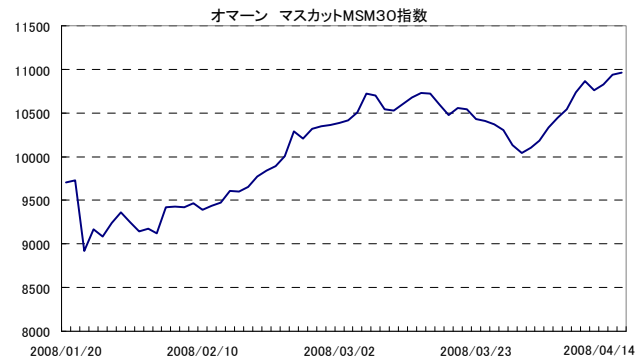
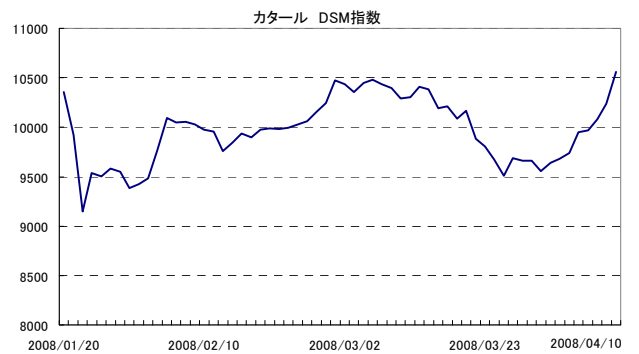
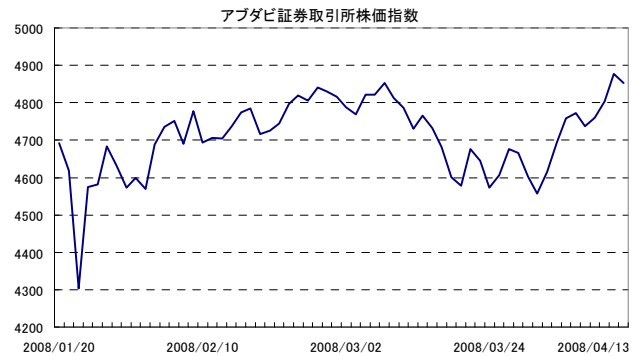
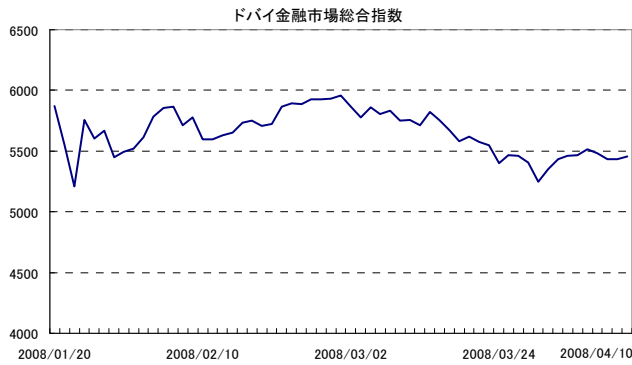
過去の大会では、日本でもおなじみのグレーシー族の選手などが優勝していますが、実は日本人でも2001年の大会で、パンクラスなどで活躍する菊田早苗という選手が88kg未満級で優勝し、一躍有名になりました。毎度のことながら、中東では、何でも世界一を追求するのです。 (グッドバイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)



出所:ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。